

各種ご案内

各館情報

かたちのデザイン

なまえ	ところ	でんわ
①みよし市立歴史民俗資料館	みよし市三好町陣取山 44-1	0561-34-5000
②愛知県陶磁美術館	瀬戸市南山口町 234	0561-84-7474
③瀬戸蔵ミュージアム	瀬戸市蔵所町 1-1	0561-97-1190
④豊田市郷土資料館	豊田市陣中町 1-21-2	0565-32-6561
⑤安城市埋蔵文化財センター	安城市安城町城堀 30 番地	0566-77-4477
⑥西尾市岩瀬文庫	西尾市亀沢町 480	0563-56-2459
⑦幸田町郷土資料館	額田郡幸田町大字深溝字清水 36-1	0564-62-6682
⑧蒲都市博物館	蒲都市栄町 10-22	0533-68-1881
⑨三河天平の里資料館	豊川市八幡町忍地 108 ほか	0533-88-5881
⑩知多市歴史民俗博物館	知多市緑町 12-2	0562-33-1571
⑪豊橋市美術博物館	豊橋市今橋町 3-1	0532-51-2882

もようのデザイン

なまえ	ところ	でんわ
⑫とこなめ陶の森 資料館	常滑市瀬木町 4-203	0569-34-5290
⑬田原市博物館（要入館料）	田原市田原町巴江 11-1	0531-22-1720
⑭半田市立博物館	半田市桐ヶ丘 4-209-1	0569-23-7173
⑮東海市立平洲記念館・郷土資料館	東海市荒尾町蜂ヶ尻 67 番地	052-604-4141
⑯大府市歴史民俗資料館	大府市桃山町 5 丁目 180-1	0562-48-1809
⑰東浦町郷土資料館（うのはな館）	知多郡東浦町大字石浜字桜見台 18-4	0562-82-1188
⑱豊田市民芸館	豊田市平戸橋町波岩 86-100	0565-45-4039
⑲西尾市資料館	西尾市錦城町 229	0563-56-6191
⑳知立市歴史民俗資料館	知立市南新地 2 丁目 3-3	0566-83-1133
㉑二川宿本陣資料館（要入館料）	豊橋市二川町字中町 65	0532-41-8580

※豊橋市美術博物館および二川宿本陣資料館は、展示替えのため9月1日（日）で終了となります。

その他各館関連企画

瀬戸蔵ミュージアム	【考古学にチャレンジ】「考古学」の世界にふれてみませんか？ 7月20日（土）13:00～ 先着 20 名（事前申込み不要）
幸田町郷土資料館	【企画展 ふるいて新しい！—古建築からわかった、こうだの歴史—】 会期：7月20日（土）から9月8日（日）まで
豊橋市美術博物館・二川宿本陣資料館	【企画展 『豊橋』を物語る 100 点】 会期：7月20日（土）から9月1日（日）まで
豊田市民芸館	【そば猪口絵付体験】500 円 先着 300 名（事前申込み不要） 7月13日（土）～8月25日（日）10:00～15:00
安城市埋蔵文化財センター	【ナイトミュージアム】マルシェなど多彩なイベントを開催！ 8月30日（金）から9月1日（日）20:30 まで開催
【とよはし歴史探訪「土偶をつくろう」】※事前申し込み必要 会場：こども未来館こここ（豊橋市松葉町 1） 日時：8月1・2日（木・金）①午前 10 時～ ②午後 1 時 30 分～ 参加料：500 円（材料費） 問い合わせ：豊橋市文化財センター ☎0532-56-6060	
ご参加いただいた方は、 【11】豊橋市美術博物館 【21】二川宿本陣資料館 どちらかにスタンプを押せます。	

この他にも、各館で企画展など色いろな催しを開催しております。ぜひお越しください！



愛知やきもの歴史
公式 Facebook
最新情報を発信！

※各館の催しに関するお問い合わせは、各館で承ります。愛知やきもの歴史 2019 全体に関するお問い合わせは、みよし市立歴史民俗資料館（担当：平井）、愛知県陶磁美術館（担当：大西）、とこなめ陶の森資料館（担当：小栗）にて承ります。

愛知 やきもの 歴史 2019 愛知のやきものデザインめぐり

自由研究にもおすすめ

あなたはどんな「やきものストーリー」に出会えるかな？
色いろなやきものをみて、しらべて、考えて、
自分なりにまとめてみよう！

県内施設 **21 館** が参加！

令和元年 7 月 20 日（土）
～ 9 月 8 日（日）

※参加施設の詳しい情報は、ウラ面をご覧ください。
各館ごとに開館日、開館時間が異なります。
ご確認のうえ、お出かけください。

スタンプラリー開催！！

愛知県には、素敵なデザインのやきものがもりだくさん！
やきものの「デザイン（かたち、もよう）」をテーマに、
県内各地のやきもの歴史を追いかけよう！
対象施設をめぐって、素敵なプレゼントをゲットしてね☆
スタンプシートは各館で配布しています。

3 館 賞
お好きな 3 館をめぐって、3 つのスタンプをあつめると、「**3 館賞**」を
プレゼント！賞品は、各館で用意しています。
賞品：クリアファイル、勾玉製作キット、展覧会招待券など、各館で異なります。
※賞品内容は、各館にお問い合わせください。

デザイン賞
愛知やきもの歴史は、**デザイン**をテーマにしています。各館では、「**かたち**」「**もよう**」
どちらかをテーマに展示しています。どちらかのデザインブロックでパーフェクトを達成
すると「**デザイン賞**」をプレゼント！
賞品：愛知のやきもの取り皿 3 個セット（抽選 30 名様、賞品は期間終了後、
最寄りの館にてお渡しします。）

パーフェクト賞
全 21 館のスタンプを集めてパーフェクトを達成すると
「**パーフェクト賞**」をプレゼント！
賞品：常滑産産壺・花器、弥生土器複製品
（各種、数に限りがあるため、応募者多数の場合抽選となります。
賞品は期間終了後、最寄りの館にてお渡しします。）
※デザイン賞・パーフェクト賞ともに、郵送は承っておりませんのでご了承ください。



●かたちのデザイン
□もようのデザイン
どこからめぐって
みようかな？

スタンプシートは
お 1 人様につき 1 枚で
お願いいたします。

デザイン賞賞品
愛知のやきもの取り皿（常滑産）

かた ち の デザイン

粘土で作った五重塔〜陶塔〜	注口土器
【1】 みよし市立 歴史民俗資料館	【6】 西尾市 岩瀬文庫
弥生人のすかた 人面付土器	邪を祓う！百皿の鬼瓦
【2】 愛知県 陶磁美術館	【7】 幸田町 郷土資料館
大きなかたちと小さなかたち	文字を書くためには… 一月田遺跡出土の円面硯―
【3】 瀬戸蔵 ミュージアム	【8】 蒲郡市 博物館
とよたの多彩なやきものたち ―ころも焼を中心に―	羊型硯 ―三河国府跡―
【4】 豊田市 郷土資料館	【9】 豊川市 三河天平の里 資料館
しもぶくれがカワイイ 古井式土器	鬼瓦の文字～『水』と『九』～
【5】 安城市 埋蔵文化財センター	【10】 知多市 歴史民俗博物館
スタンプを おしてね！	武徳殿の鬼瓦
	【11】 豊橋市 美術博物館 (土偶をつくろう)

もよう の デザイン

常滑の井戸筒	堅雄堂宝珠瓦 ―水野家家紋入り―
【12】 とこなめ 陶の森 資料館	【17】 東浦町 郷土資料館 (うのはな館)
紅葉文甕	素朴な縞模様が美しい 麦藁手飯椀
【13】 田原市 博物館	【18】 豊田市 民芸館
均整唐草文軒平瓦	素弁六弁蓮華文軒丸瓦
【14】 半田市立 博物館	【19】 西尾市 資料館
鹿を描いた弥生土器	縄文土器 ―間瀬口遺跡 B―
【15】 東海市立 平洲記念館 郷土資料館	【20】 知立市 歴史民俗資料館
大倉和親の別荘と洋食器生産 大倉陶園「ブルーローズ」	瓜郷遺跡出土の弥生土器
【16】 大府市 歴史民俗資料館	【21】 豊橋市 二川宿本陣資料館 (土偶をつくろう)

記念品交換チェック欄

- ☐ ☐ ☐ 3 館 賞 ※3 つまで
ありがとうございます
- ☐ デザイン 賞 ※おつかれさまでございます
 - ☐ かたち
 - ☐ もよう ※どちらかひとつ
- ☐ パーフェクト 賞
心から、感謝申し上げます

縄文時代のやきもの

縄文時代には各地で地域色豊かな縄文土器が作られ、他の地域の土器の形や作り方に影響を与えていました。愛知県がある東海地方は、東は関東地方、西は関西地方、北は中部地方と北陸地方に接しているため、これらの地方の影響を受けた土器が多く見られます。縄文時代の東海地方では、日本列島各地の文化が行き交っていたことがわかります。

弥生時代のやきもの

紀元前4～3世紀（一説には紀元前 10 世紀）ころ、大陸から北部九州にコメ作りが伝わりました。これにより、日本は食物を獲る時代から作る時代へと変化しました。土器も、たくわえるための壺や炊く甕が多く作られ、他にも盛り付ける高坏や鉢が使われるようになりました。

古墳時代のやきもの

弥生土器を引き継ぐ土師器と、新たに朝鮮半島から技術が伝わった須恵器があります。土師器は各地で作られますが、須恵器はより高い温度で焼くための窯が必要で、製作地は限られます。新来の須恵器は様々な形を生み出し、装飾豊かなものも多くあります。古墳に並べられる埴輪は、筒形その他、家形や動物形、人形等が作られました。

古代のやきもの

古墳時代に伝わった須恵器は、その後もたくさん作られ、奈良時代になると愛知県は猿投窯をはじめとする、やきものの一大生産地となりました。さらに平安時代になると、淡緑色をした緑釉陶器や灰釉陶器といった高級な陶器を作るようになります。これらの陶器は、当時の都をはじめ全国各地に運ばれていきました。

中世のやきもの

平安時代後期から東海地方の各地で山茶碗の生産が行われました。鎌倉時代になると、山茶碗の生産をベースとして瀬戸窯で施釉陶器、常滑・渥美窯で壺・甕・鉢を主体とした焼締陶器の生産が開始されます。特に、瀬戸窯は国内で唯一の施釉陶器を生産した窯として有名で、常滑窯とともに中世を通して生産が行われていきました。

近世のやきもの

中世に引き続き、瀬戸窯・常滑窯が大きな産地です。瀬戸窯では筆で絵の描かれたやきものが盛んに作られますが、19 世紀にはそれまでの陶器に加えて九州から磁器作りが伝わります。常滑窯では甕等の大物が主力ですが、19 世紀には急須や茶道具等も作られ始めました。他に名古屋等、各地で様々なやきもの産地が生まれました。

近代のやきもの

明治時代以降、海外への輸出用陶磁器生産が大きく進展していきます。それと共に西洋からの新技術の導入、生産工程の工業化、鉄道網の整備や名古屋港の開港、貿易商社の集結といった、やきものの生産・流通・販売などの各方面で近代化されていきました。その一方で、陶芸という美術工芸の分野が芽生え、発展していきました。

— memo —

愛

知

や

き

も

の

ヒ

ス

ト

リ

ー

たとえば…弥生土器の実測図

